



PSつつうしん

～東通原子力発電所だより～ 2013.9.8

東北電力(株)東通原子力発電所 青森県下北郡東通村大字白糠字前坂下34-4
TEL(代表) 0175(46)2225
ホームページ <http://www.tohoku-epco.co.jp>

電源機能喪失時対応訓練を実施しました

東通原子力発電所は、7月31日(水)、発電所および構内協力会社の従業員約170名の参加により、電源機能喪失を想定した総合訓練を実施し、緊急時における全体的な対応の実効性を確認しました。

今回の訓練は、対応者の技量の向上および組織間連携の習熟のため、発電所の対策本部と中央制御室を模したシミュレータ室とを連携させ、また、訓練のシナリオを訓練参加者に事前に知らせない「ブラインド訓練」として実施しました。

1. 事故想定

- 平日・昼間、発電所が定格出力運転中、震度6弱の地震により原子炉が自動停止。送電線からの外部電源が途絶えたと共に、大容量電源装置も故障。
- 自動起動した非常用ディーゼル発電機が、最大高さ17mの津波襲来の影響により使用不能となり全交流電源が喪失。
- 原子炉内の圧力を抑制する機能および原子炉内を冷却する機能が喪失。

2. 主な訓練項目と概要

● シミュレータ訓練

対策本部と連携しながら、原子炉の状態確認や運転操作を行う訓練



● 電源確保訓練

電源車から発電所設備へ電源供給を行う訓練



● 緊急被ばく医療訓練

管理区域内で発生した負傷者の除染および応急措置、搬送を行う訓練



～その他の訓練項目～

- 社内外への「通報訓練」
- 発電所作業員の「避難誘導訓練」
- 放射線量を測定する「モニタリング訓練」
- 発電所対策本部からの「指揮命令訓練」
- 重機による「がれき撤去訓練」
- 電源車・消防車への「燃料補給訓練」
- 消防車を用いた「代替注水訓練」

今回の訓練で抽出された反省点を今後の訓練にしっかりと反映させ、緊急時における対応の実効性をより高めていきます。

感謝の気持ちをこめて東通村の全世帯を訪問しました

東通原子力発電所は、7月22日(月)から8月2日(金)にかけて、発電所員が東通村の全世帯を訪問する「全戸訪問対話活動」を実施しました。

この活動は、発電所に対する日頃のご理解とご協力に感謝の意を伝えるとともに、地域の皆さまからの意見を今後の事業活動に反映していくことを目的に、年2回実施しております。

今回は、発電所広報誌「しおさい」の配布に加え、現在実施している「敷地内断層の活動性等を確認するための追加地質調査」の概要について、リーフレットにより説明しました。

今後も、訪問対話活動などを通じ、地域の皆さまから信頼される発電所となるよう、努めてまいります。



東通村の祭りでよさこい鳴子踊りを披露しました

東通原子力発電所のよさこい鳴子踊り愛好会総勢57名は、8月25日(日)、「ひがしどおり来さまいフェスタ2013よさこい下北」でよさこい鳴子踊りを披露しました。



一丸となってダイナミックな踊りを披露



当日は、6月から練習に励んできた成果を存分に発揮し、東通の夏を盛り上げることができたと思います。大きな歓声と拍手、ありがとうございました。

発電所では、これからも地域のみなさまとのふれあいを大切にまいります。